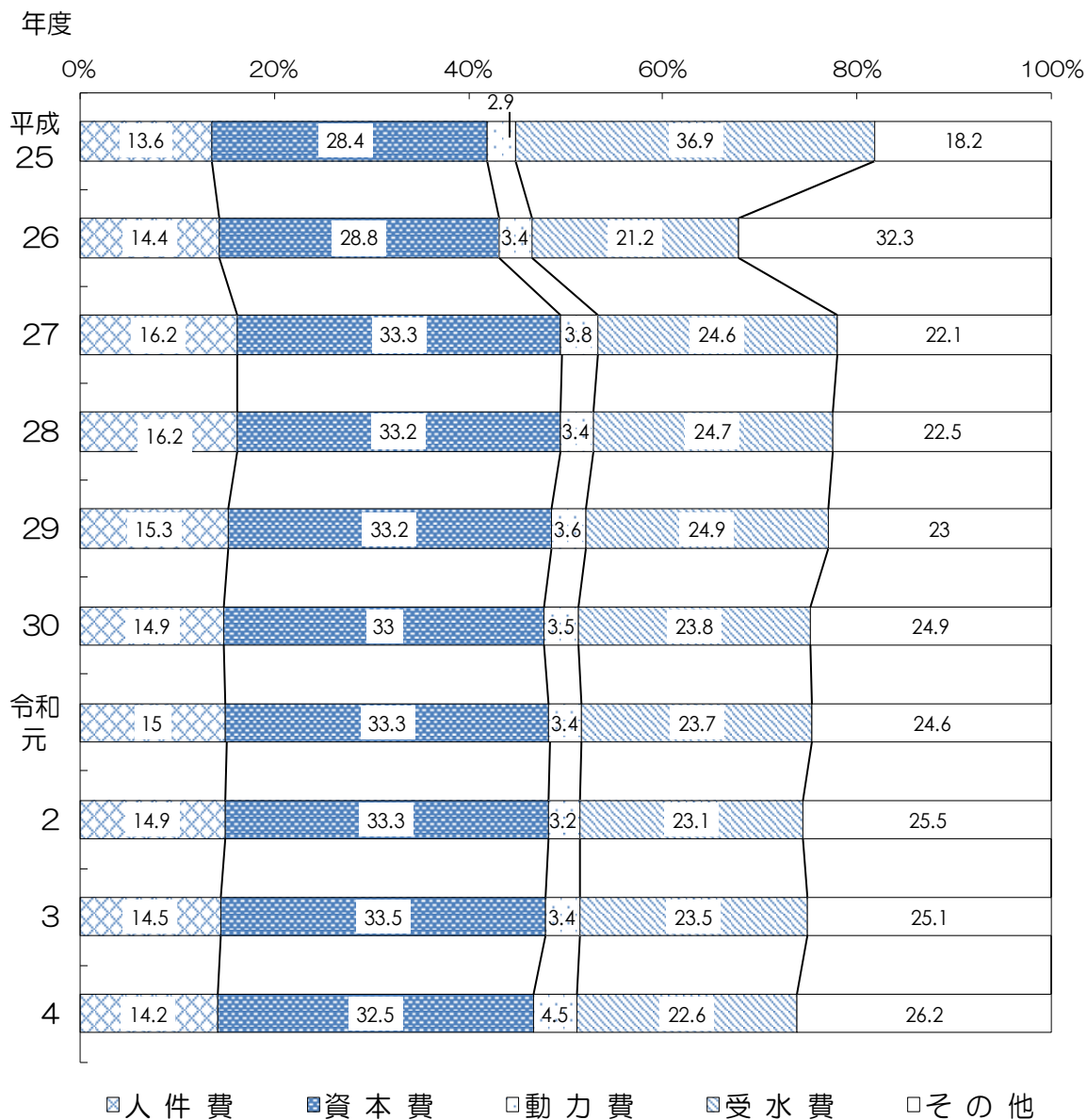


(2) 費用構成

構成費用は近年、ほぼ横ばいになっているが、令和4年度末は前年度に比べ動力費が1.1%増加した。近年の電気代等の高騰による影響と考えられる(図一八)。

図一八 費用構成(上水道)



※資本費=支払利息+減価償

一方、費用の推移を見ると、有収水量1m³当たりの費用は平成13年度の186.65円をピークとして減少傾向にあったが、新公営企業会計制度の影響もあり、平成26年度は170.99円（総務省通知による算出式）と急増した。

これを費用内訳別に平成25年度を100とした指数で表すと、令和4年度の人件費は平成25年度の25.51円に対して23.06円で指数90となり、資本費では平成25年度の47.03円に対して42.97円で指数91となっている（表-12）。

表-12 上水道給水原価に占める費用内訳の推移（有収水量1m³当たり）

年度	人件費		資本費		動力費		受水費		その他		合計	
	金額	指数	金額	指数	金額	指数	金額	指数	金額	指数	金額	指数
平成25	25.51	100	47.03	100	5.75	100	38.33	100	40.51	100	157.13	100
26	26.16	92	41.83	89	6.19	133	38.46	96	58.35	153	170.99	108
27	25.41	89	42.07	90	5.96	128	38.61	97	34.98	92	147.03	93
28	25.06	88	41.27	88	5.30	113	38.37	96	34.28	90	144.28	91
29	23.75	83	41.43	88	5.51	118	38.59	97	34.67	91	143.95	91
30	23.25	81	41.10	88	5.48	117	37.10	93	37.96	99	144.89	92
令和元	23.46	82	41.91	89	5.36	115	36.96	93	37.29	98	144.98	92
2	23.16	81	41.69	89	4.95	106	36.00	90	38.95	102	144.75	91
3	22.81	80	42.82	91	5.34	114	37.07	93	37.13	97	145.17	92
4	23.06	90	42.97	91	7.31	127	36.83	96	41.34	102	151.51	96

（指数は、整数値で切捨て）

※左欄は有収水量1m³当たりの額（単位：円）

※右欄は平成25年度を100とした場合の指数

※資本費＝支払利息＋減価償却費－長期前受金戻入相当額